

バイオマス用インパクトライン流量計のご案内

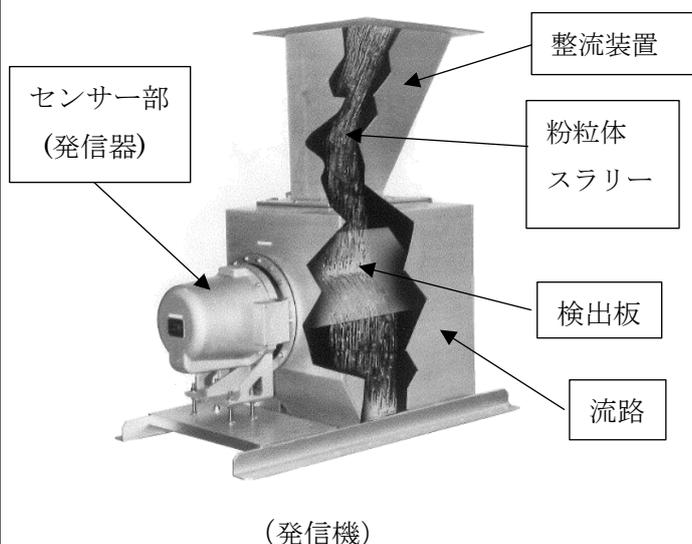
インパクトライン流量計は、発電所ならびにその他各所において、バイオマス燃料の消耗量の計測、制御用などにご利用頂いております。

バイオマス燃料としましては、ヤシ柄或いは木材チップ等色々な燃料材料に実績があります。

インパクトライン流量計は、他の流量計と比較しまして下記利用上の利点があります。

- 1、 耐久性に優れ、フリーメンテナンスです
- 2、 形状は小型、軽量にて据付簡単です
- 3、 完全密閉型構造にて、粉塵による環境汚染の心配はありません
- 4、 高温、高圧プロセスにもご利用頂けます

インパクトライン流量計の原理



インパクトライン流量計の原理

供給機などから排出されたバイオ燃料や粉粒体は、整流装置を經由し検出板に自然落下し衝突する。

この時検出板に発生する衝撃荷重は流量に比例する。

この衝撃荷重の水平分力を発信器にて検出し、受信器を介して流量表示し、比例した電気信号（4～20mA）を発信する。

〒243-0211 神奈川県厚木市三田9-1

三協パイオテック株式会社 TEL:046-242-5045 FAX:046-243-1058

URL:<http://www.sankyo-piotech.co.jp>

担当：徳市：tokuichi.kinya-o@sankyo-piotech.co.jp

石川：ishikawa.akinobu-t@sankyo-piotech.co.jp

写真1：バイオマス椰子柄用に採用
されている新型インパクトライン流量計
(工場出荷時の写真)

MODEL No：ILS-45-60S



写真2：バイオマス木材チップ等に採
用されているインパクトライン流量計
MODEL No：ILE-30



写真3：使用例の多い ILS30-30

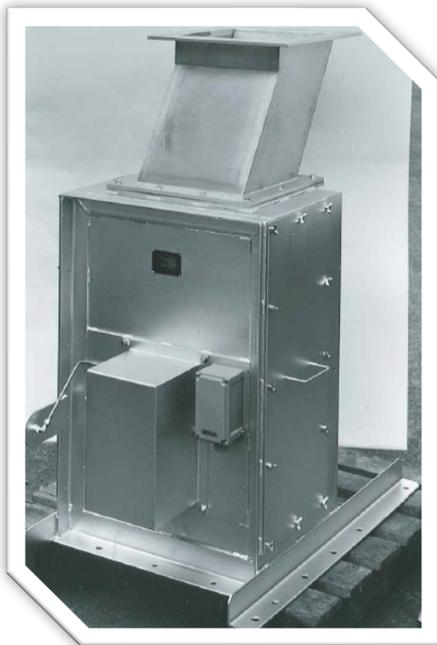


写真4：長年使用されている ILE-61
(スラリーにも使えます)

